

【R5年度】重点目標の取組・概要 (〇〇事業)

担当課（内線）	〇〇課〇〇担当（内線〇〇）	重点目標の方向性	
重点目標		行政の役割	

現状と課題
<ul style="list-style-type: none"> 総合計画「将来ビジョン・岸和田」の基本計画に掲げている重点目標を実現するための各事業の現状と課題を記載しています。

R5年度の事業費（内訳）
<ul style="list-style-type: none"> R5年度の事業費内訳を記載しています。

課題に対する取組の内容（めざす成果・期間・対象者・手法など）
<ul style="list-style-type: none"> 課題に対する取組みの内容を記載しています。

R6年度以降の想定事業費（ランニング経費）
<ul style="list-style-type: none"> R6年度以降に想定される事業費を記載しています。

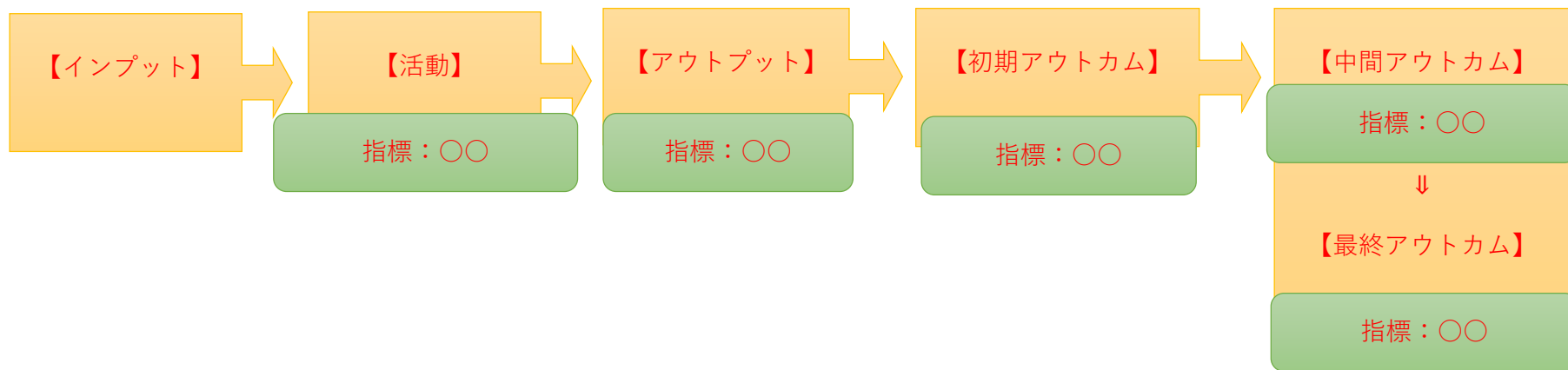
取組の進捗・成果を測る指標
<ul style="list-style-type: none"> どのような指標を用いて進捗・成果を測るのかを記載しています。

成果・指標が未達成の場合の取扱い
<ul style="list-style-type: none"> 成果・指標が未達成だった場合の縮小・廃止時期を記載しています。

ロジックモデル【事業立案時点】

ロジックモデルとは、事業や組織が最終的に目指す効果の実現に向けた道筋を体系的に図式化したものです。

- 事業のよりよい改善に向けて、取り組んでいる事業の影響を単純化し、ロジックモデルとして表現しています。投入される資源（インプット）、実施される活動（アウトプット）、その結果生じる成果（アウトカム）の間における論理的関係を示しています。
- 事業の成果が上がらないときなど、評価時においてロジックモデルを使ってどこの過程に問題があるかを確認するために活用します。



その他（財源、他団体の状況、行政サービスとしての適正性について など）

【財源】

• どのような財源を用いるのかを表記しています。

【他団体の状況】

• 他団体での実績や、取り組みを表記しています。

【R5年度】重点目標の取組・評価シート① (〇〇事業)

担当課 (内線)	〇〇課〇〇担当 (内線〇〇)	重点目標の方向性	
重点目標		行政の役割	

■ 中期的にめざす成果に対する達成度



- 中期的にめざす成果に対する達成度を達成割合ごとに「達成 (100%)」「おおむね達成 (75%以上100%未満)」「一部達成 (50%以上75%未満)」「道半ば (50%未満)」のアイコンで示しています。

■ R5年度において実施・実現できたこと

- R5年度において実施できたこと (アウトプット)、実現した成果 (アウトカム) について、定量的な結果などを挙げつつ、記載しています。

■ R5年度における達成度 (当初の実施予定に対する達成度)



- R5年度における達成度を達成割合ごとに「達成 (100%)」「おおむね達成 (75%以上100%未満)」「一部達成 (50%以上75%未満)」「道半ば (50%未満)」のアイコンで示しています。

■ 主な「取組の進捗・成果を測る指標」の状況

測定有無	指標名	単位	基準値 (年次)	目標値 (年次)	R5年度実績値
○	取組の進捗・成果を測る指標名を記載しています。	団体	2 (R3)	10 (R7)	4 (R5)
-		回	0 (R4)	5 (R7)	1 (R5)
		件			

実績値を設定している場合は「○」、現時点では設定していない、その他の場合は「-」で表記しています。

基準となる年度の数値がある場合は記載しています。

目標年度までに達成を目指す数値を記載しています。

R5年度中に達成した数値を記載しています。

■ R5年度において実施・実現できなかったこと

- R5年度において実施・実現を予定していたもののできなかったこと（一部達成したものの目標を下回った場合を含む）や、実施する必要性が生じたもののできなかったことなどについて記載しています。

■ 課題分析

- 事業を進めていく上での解消が必要な課題について記載しています。

■ ロジックモデルの振り返り

- ロジックモデルで設定した内容のとおり事業が進捗しているかどうかの振り返りを記載しています。

■ 次年度以降の予定・改善内容

- 「実施・実現できなかったこと」「課題分析」「ロジックモデルの振り返り」を踏まえて、次年度以降の予定や、改善を図る内容について記載しています。